

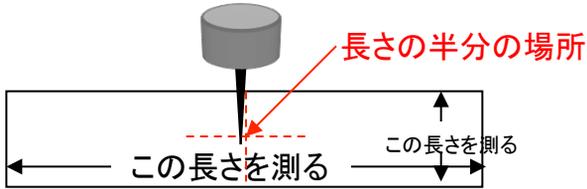
かんたん竹とんぼの作り方

どこ竹@竹とんぼ教室

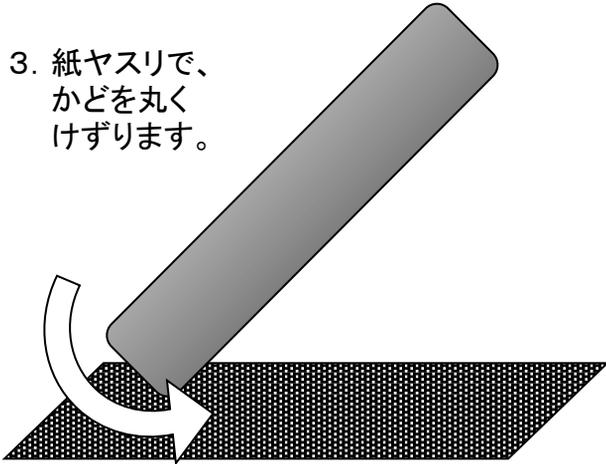
1. 材料の、丸くなっている竹の皮のところが上(おもて)です。これが竹とんぼの「はね」になります。



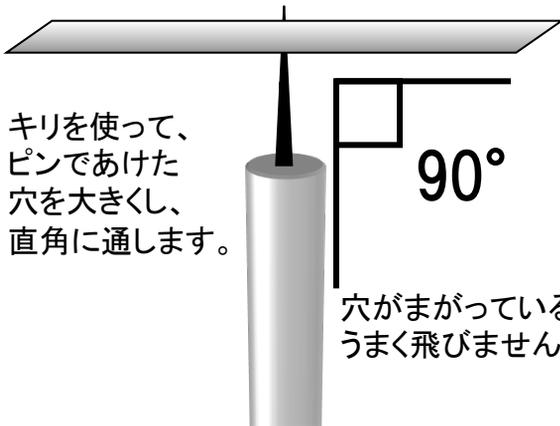
2. 材料をひっくり返し、長さ、幅(はば)を測り、半分のところに線を引きます。その交わったところに、ピンでかるく穴をあけます。



3. 紙ヤスリで、かどを丸くけずります。



4. キリを使って、ピンであけた穴を大きくし、直角に通します。



5. 翼の左右の重さのバランスをとります。テスト用の軸を付けて、ガラスコップのふちで確認。重いほうの翼を紙ヤスリで削り、軽くします。再度、バランスを確認し、翼がクルクル回るようになったら、左右の重さが同じになったのです。

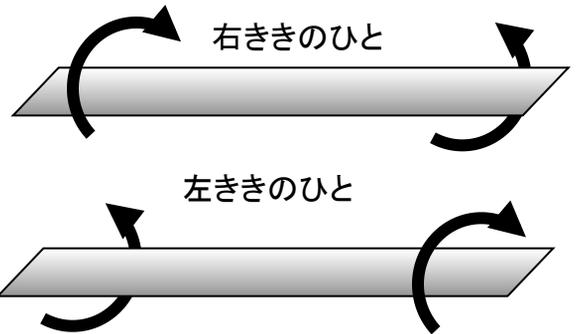


6. 材料の中心のところを、手でさわってあつくなるまで、うらとおもてを火であぶります。



竹をこがさないよう注意!(アルミ箱でまくなどします)

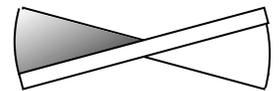
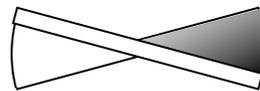
7. 竹のりょうはじを手でもってひねり、1分間そのままにしておきます。右ききのひとと、左ききのひととは、まげる方向が反対になります。



8. 横からみてこのようなひねりができるまで、何回かに分けてまげます。このひねりが、竹とんぼを飛ばすために大事です。

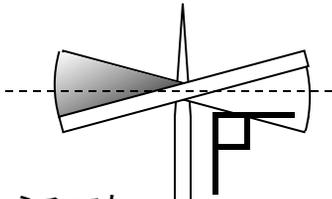
右ききのひと

左ききのひと

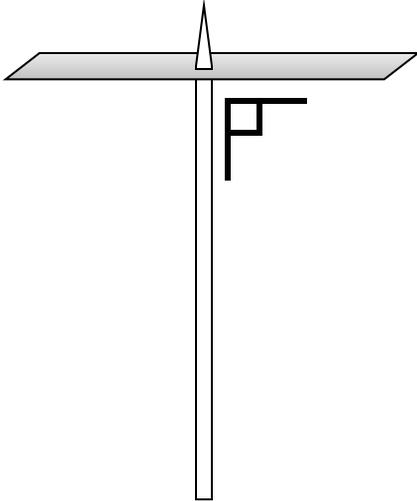


次のページへ

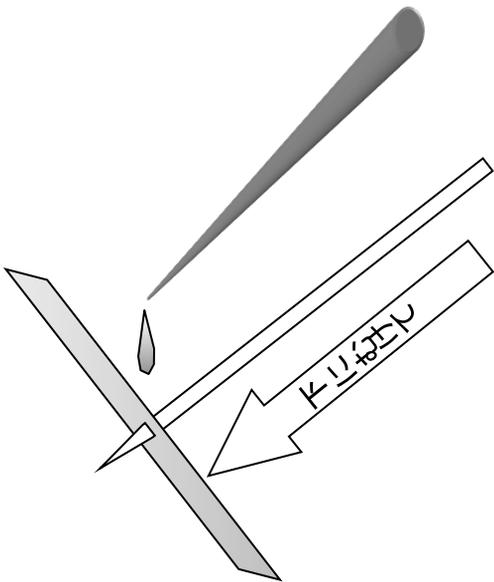
9. 竹ぐし(じく)を、はねの中心の穴に、まっすぐにさしこみます。



前からみても、横からみてもまっすぐになっていることが大事です。



10. はねとじくのつなぎめに、瞬間接着剤をたらして、かたまるまで20秒間まちます。



接着剤は、指や服につかないよう、気をつけましょう。(量を少なく、米粒の1/3くらいが適量。少し出す練習をする)

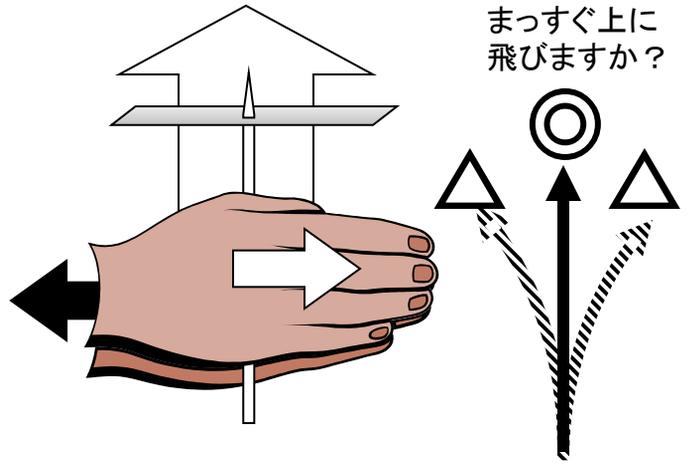
11. 接着剤がかたまったら、飛ばしてみましょ。

右ききのひとは、

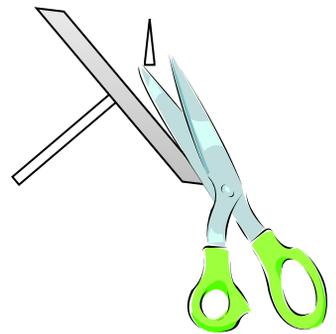
①左手を壁のように止めた状態にして、

②右手を押し当てて、前におしだす。

左ききのひとは、その反対です。



12. うまく飛ぶようになったら、じくのところがっているところを、はさみで切りましょ。(とがったままだと、あぶないからです)



13. いろんなあそび方があります。

①高く飛ばそう。

②遠くへ飛ばそう。

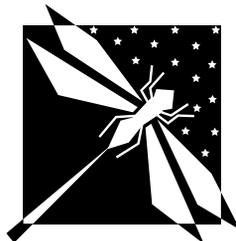
③長い時間飛ばそう。

④まどに当てよう。

どんなあそび方をしてもいいですが、

人にむけて飛ばさないこと。

これだけは気をつけましょ。



おしまい

Copyright 2004 HORIIKE/KATO

本文の複製及び使用は自由です。ただし、その結果生じたいかなる損害や不利益に対しても、制作者は責任を持ちません。